



社協だより

ほほえみ

No.59

2020年5月1日

P 2・3	令和2年度予算・事業計画
P 4	福祉座談会の開催
P 5	ファミリー・サポート・センター交流会の開催
P 6	福祉体験学習&出前講座
P 7	生活困窮者自立相談支援事業
P 8	香典返し・各種相談事業

発行／社会福祉法人 和水町社会福祉協議会

TEL 0968-34-2366・0968-34-2390

この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金により発行されています。

事業計画

「基本方針」

社会福祉協議会は、社会福祉法において「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と明記されています。地域住民を会員とする社会福祉法人として、地域住民が直面している地域福祉の課題や問題の解決に取り組み、“**赤ちゃんからお年寄りまで安心して暮らし続けられるまち**”の実現を目指します。

第2期地域福祉活動計画を基本とし、職員自ら地域に出向いて（アウトリーチ）地域住民の意見・要望等を取り入れ、その中で地域または個人が抱える課題や問題を発見し、その解決に向けて地域住民、ボランティア、民生委員・児童委員、行政、関係団体等の多業種協働による支援を推進します。

在宅福祉の分野では、介護保険事業・障がい者自立支援事業の効果的なサービスが提供できるように取り組んでいきます。

今後も、社会福祉協議会の意義・役割について十分に検討し、新たな事業創出も視野にふまえて、既存事業の見直しや課題の整理を行い、地域福祉の更なる充実と向上に向けて、社協職員としての資質向上に努めると共に、職務への自覚と責任を持って取り組んでいきます。

1. 社協運営に関すること

・理事会、評議員会の開催 ・各種監査及び会計指導 ・役職員等の資質向上 ・指定管理施設の管理運営

2. 社協事業に関すること

(1) 住民への情報提供のために

・社協広報誌の発行 ・ホームページの運営

(2) 住民が必要とするサービスを企画・開発するために

・ひとり暮らし、高齢者世帯の実態把握 ・福祉座談会の開催 ・座談会後の継続支援 ・困りごとやニーズ調査

(3) 住民が在宅で安心して暮らす事ができるために

・居宅介護支援事業 ・訪問介護事業 ・訪問型予防事業 ・居宅介護、重度訪問介護事業 ・通所サービスB事業
・ふれあいいきいきサロン事業 ・ふれあいいきいきサロン助成金事業 ・男性料理教室事業 ・男性の集いの場づくり
・介護予防教室運営事業 ・食の自立支援事業 ・地域福祉権利擁護事業 ・まごころ安心預かりサービス事業
・福祉講演会 ・認知症家族会 ・福祉機器貸出事業

(4) 住民の暮らしの相談・苦情受付のため

・法律相談事業 ・補聴器相談事業 ・生活困窮者自立支援事業 ・福祉金庫貸付 ・緊急時における食糧等の提供
・生活福祉資金の受付、相談 ・高額療養費の受付、相談 ・苦情相談の受入体制 ・メールやアンケートによる意見収集

(5) 住民や団体の活動推進のため

・物品貸出事業 ・社協公用車貸出 ・関係団体への協力、支援 ・民生委員児童委員協議会 ・老人クラブ連合会

(6) 子どもたちの健全育成及び次世代育成のために

・児童デイサービス事業 ・福祉体験学習 ・ボランティア福祉協力校助成金事業 ・実習生受入体制の整備

(7) 事業費募集のために

・社協会費募集 ・寄付金（一般・香典返し）の受付 ・日本赤十字社会費募集 ・赤い羽根共同募金運動

(8) ボランティア活動の推進・啓発のために

・ボランティア連絡協議会への支援 ・ボランティア活動への支援 ・サロン、ボランティア養成講習会
・中学生ワークキャンプ事業 ・ボランティアに関する相談受付や活動紹介などのマッチング

(9) 住民がお互いに支え合うふれあいのまちづくりのために

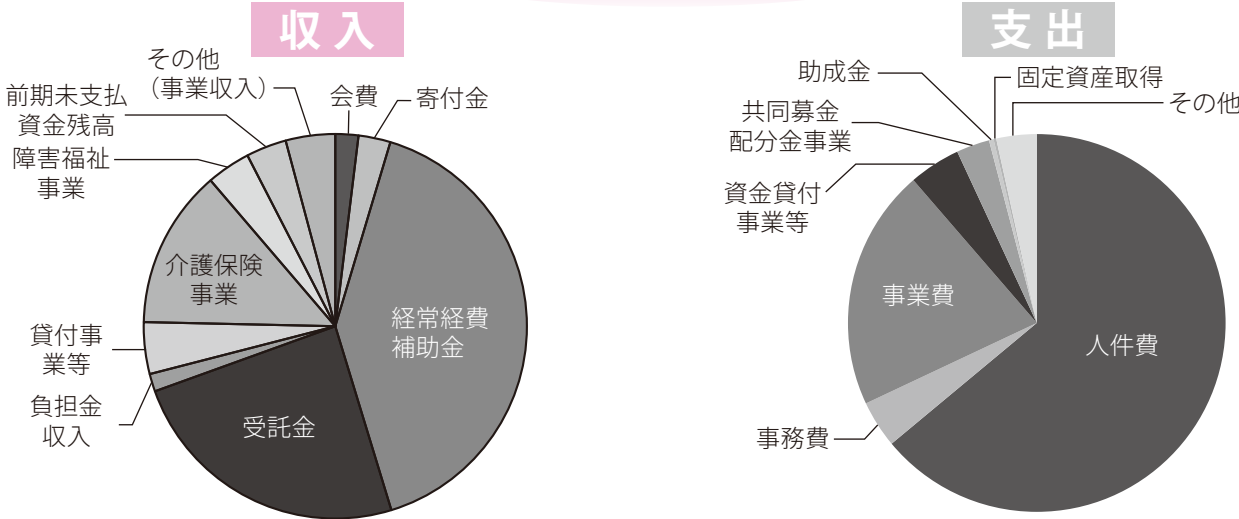
・ひとり暮らしふれあい招待会 ・出前講座などの職員派遣 ・世代間交流事業 ・生活支援体制整備事業
・関係団体との協働体制の構築 ・生活支援サービス「なごみのわ」 ・ファミリーサポートセンター事業

(10) 防犯・防災のために

・町防災訓練での連携、協力 ・地域での防災訓練への支援 ・災害時応援協定

令和2年度 和水町社会福祉協議会

一般会計予算



(単位:千円)

収入	勘定科目	金 額	摘 要
	会費	1,600	社協会費（一般・賛助・特別会員）
	寄付金	2,200	一般寄付金、香典返しなど
	経常経費補助金	33,487	町補助金、共同募金配分金
	受託金	19,914	福祉センター指定管理費、県社協受託金・町受託事業
	負担金収入	1,240	生活困窮者等自立相談支援事業負担金
	貸付事業等	3,600	高額療養費貸付資金、福祉金庫貸付
	介護保険事業	11,033	介護保険事業
	障がい者自立支援事業	3,045	障がい者自立支援事業
	前期末支払資金残高	2,810	
	その他(事業収入)	3,401	事業にかかる参加費、預金利息など
	合 計	82,330	

(単位:千円)

支出	勘定科目	金 額	摘 要
	人件費	52,765	職員人件費
	事務費	3,206	法人運営に係る費用 (会議費、通信運搬費、電気代、事務消耗品、賃借料等)
	事業費	17,096	地域福祉事業に係る費用 (配食サービス、心配ごと相談、法律相談、男性料理教室等)
	資金貸付事業等	3,600	高額療養費貸付資金、福祉金庫貸付
	共同募金配分金事業	2,290	老人福祉活動費(ひとり暮らしふれあい招待会、老人会、ボランティア団体育成等) 児童青少年福祉活動費(ワークキャンプ、児童デイ、体験学習等) ボランティア活動育成費(団体育成事業、町ボラ連への助成、介護予防教室支援等) 総合福祉の事業(広報誌、福祉まつり、小地域ネットワーク活動費)
	助成金	335	各種福祉団体等への助成
	固定資産取得	210	器具及び備品取得支出
	その他	2,828	退職共済預け金、予備費
	合 計	82,330	

ファミリー・サポート・センター交流会を開催しました ☆

2月12日(水)に、会員間の交流と事業周知を目的としたイベント「ファミサポ交流会」を開催しました。今回は、「ママと子どもの姿勢講座」というテーマで、大牟田市在住のパーソナルクリエーター・ウォーキング講師の秀島聖氏をお招きし、ご講演いただきました。

普段歩く時のワンポイントとして、「一本線の上を、つま先はちょっと外向きにして、歩くように意識する」それだけで、一歩一歩がヒップアップのトレーニングになる。また、子どもは親の姿勢をお手本にして、生活している。親が姿勢よく歩き、(特に食事の姿勢など)意識を高めれば、子どもも自然と真似をするということを教えていただきました。

参加された方からは、「翌日、筋肉痛になりました!」「協力会員さんとも、顔見知りになったので良かったです。」と嬉しいお言葉をいただきました。



子どもたちは、おもちゃスペースでママを応援♪

講座後半は、
背筋が
ピン!



歩く時は、並行ではなく、クロスして歩くように。

社会福祉士相談援助実習終了



九州看護福祉大学
3年
野田 七星

今回実習を受け入れてくださり、有難うございました。社会福祉協議会の役割・機能や社会福祉協議会と地域の関わりを理解する事が出来ました。

又、多数の事業に参加させていただき、実りある実習を行う事が出来ました。

今回、実習に関わっていただいていた皆様、感染症にて大変な時期にご協力いただき、誠に有難うございました。



九州看護福祉大学
3年
庄山 友紀

実習を通して、様々な事業に参加させていただき地域の方々と関わる機会が数多くありました。その中で、社協が、地域住民の生活を支えているのと同時に、地域住民に社協が支えられていると感じました。子どもから大人まで沢山の人が社協と関わり、社協が主導しているのではなく、地域住民が中心となって、共に良い地域づくりが行われていることを知りました。

今回実習で学んだ事を、今後の学びに生かして行きます。社協の方々、地域の皆様、本当に有難うございました。

自分の地域について考えてみよう!!

下津原中区福祉座談会

2月20日、下津原中区公民館において地域住民の参加をいただき、福祉座談会を開催しました。

福祉座談会は、自分が暮らす地域について今一度見つめ直し、地域の福祉課題を発見するとともに、解決に向け住民主体の活動を推進し、ずっと安心して暮らし続けられる地域をつくっていくための話し合いの場となります。

当日は下津原中区の住民の皆様方に参加いただき、和水町の現状をお伝えした後、地域の良いところ、課題点、課題解決のためのアイデアについて話し合っていました。

住民の方同士の間で、結束力が高く、ドローンを使った危険箇所の把握や光回線を使った公民館活用など、すでに様々な取組がなされていたのが印象的でした。

また、地域の中にある様々な課題も話し合われ、高齢者の見守りや災害対応、増える空家への対策など、難しい課題も多岐にわたる中、解決に向けたアイデアも少しずつ出ていたようです。

社会福祉協議会としても継続的に関わらせていただき、課題解決の力になればと考えています。



車いすの寄贈

熊本市の株式会社えがお様より、車いすのご寄贈をいただきました。

この車いすは、一時帰宅や在宅介護など、必要とされる方への貸し出しや、町内小中学校での福祉体験学習、地域での出前講座等、和水町の地域福祉向上のため有効に活用させていただきます。



いちごの寄付 いただきました

4月15日、JAたまな北部集荷センターいちご部会（鶴田秀忠部会長）より、いちごの寄付をいただきました。

今年もとれたてのいちご120パックが町内3施設（和楽荘、清風苑、きくすい荘）へ届けられました。

また、例年、三加和地区のひとり暮らしの方へも寄付をいただき、自宅までお届けしておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度は中止にさせていただきますことを何卒ご了承ください。

また来年楽しみにお待ちしております。

こんなことに困っていませんか？
ひとりで抱えこまずにご相談ください

日々の生活のなかでの不安や、困りごとをお聞かせください。
一人ひとりの状況に合わせた支援内容を相談者と一緒に考え、
専門の機関・団体と連携して、解決に向けた支援を行います。

**相談
無料**

秘密
嚴守

仕事のこと

- 仕事が見つかからない
- 仕事が続かず収入が安定しない
- 仕事を始めたいけれど、働けるか不安

生活費のこと

- 借金を何とかしたい
- 税金や公共料金が払えない
- 家計のやりくりがうまくできず生活が苦しい
- 年金だけで生活できるか心配だ

**家計
相談支援**

**家計の立て直しについて
アドバイスします**
家計状況の問題を整理し、
自ら家計を管理していける
ように、状況に応じた支援計
画の作成や貸付のあっせん
等を行います。

就勞
準備支援

就労への第一歩です

「社会との関わりに不安がある」、「周囲の人とのコミュニケーションがうまくとれない」など、すぐに働くことが心配な方に、就労に向けた訓練や就労体験の機会を提供します。

子ども・家族のこと

- 子どもの学費や勉強のことが心配
- 家に引きこもっている家族がいる

子どもの
学習支援

子どもの明るい未来をサポート

子どもの学習支援や居場所づくり、進学、高校の中退防止等について、子どもとその保護者に必要な支援を行います。

住まいのこと

- 会社を解雇され、住むところがない
- 家賃が払えず、家を出なければならぬ

**住居確保
給付金**

家賃相当額を支給します
離職などにより住居を失った方、または失うおそれの高い方に、就職に向けた活動を行うこと等を条件として、一定の期間、家賃相当額を支給します。

一時
生活支援

宿泊場所や食事等を提供します
決まった住居のない方に、一定期間の宿泊場所と食事等を提供しながら、自立した生活に向けた支援を行います。



▲車いす体験(段差20cm)



▲高齡者疑似體驗

2月21日（金）、菊水中学校の1年生（41名）を対象に、福祉体験（高齢者疑似体験・車いす体験・アイマスク体験）をそれぞれクラスごとに実施致しました。

まず、始めに【ふくし】について職員より説明を行い、【ふくし】のイメージや【ふくしの仕事】についても学習をしていただいた後に、各体験へと進みました。

大半の生徒が、小学校の時に体験をしていましたが、初めて経験する生徒もいましたので、復習を兼ねて、体験内容だけを大まかに伝え、出来るだけ自分たちで考えて行動をしていただきました。

限られた時間の中でしたが、生徒たちはそれぞれに【ふくし】について学んでいただけたと思いますので、感想を紹介します。（一部抜粋）

- ・この体験を通して、相手の気持ちを考え、助けられることを探し、手助けをしようと思いました。
- ・実際に体験をして、聞くだけでは分からない苦労があることが分かりました。
- ・相手にお手伝いする時は、優しく声掛けをしたいと思いました。
- ・これからは、支える側として、皆さんの役に立てるように頑張りたいと思います。

出前講座(肥後銀行菊水支店)

2月12日(水)に、肥後銀行菊水支店様より出前講座の依頼を受け、認知症の方・視覚障がい者の方・車いす利用者の方を想定した対応の仕方などについて説明させていただきました。職員の皆さんにそれぞれ誘導や車いすの操作をして体験していただき、体験を終えた後には、レイアウトなどについてその場でアイディアを出し合われていました。



和水町社会福祉協議会では、上記のような体験学習・出前講座を随時開催しています。地域における福祉の向上力、家族、自分自身のために私たちと一緒に【ふくし】について学習してみませんか？

地域や職場において、希望される場合は社会福祉協議会(☎0968-34-2366)までお問い合わせください。



寄付御礼

R2年1月6日～R2年4月21日 受付分

次の方より香典返しに代えて多額の寄付をいただきました。
ご報告と共に、ご逝去された方々のご冥福をお祈り申し上げます。

寄 付 者	物 故 者	行政区(住所)
高 木 和 男 様	亡妻) 博子	東吉地
吉 田 浩 徳 様	亡母) テイ子	蜻浦
松 尾 裕 二 様	亡母) トキヲ	板楠西
田 中 和 也 様	亡母) 和子	江栗
坂 梨 正 国 様	亡母) タズ子	下久井原
池 田 則 義 様	亡子) 慶児	玉名市
中 村 金 児 様	亡妻) 美津代	下大田黒
杉 本 章 一 様	亡父) 照喜	萩原
中 村 住 子 様	亡夫) 寿	下吉地
菅 原 友 子 様	亡義父) 正典	西吉地
菅 原 友 子 様	亡夫) 亘	西吉地
杉 原 ま す み 様	亡母) 恵	日平
徳 永 喜 介 様	亡妻) トモエ	下津原西
荒 木 佳 詞 子 様	亡夫) 忠孝	山十町
北 山 博 章 様	亡母) エイ	北原
有 働 輝 雄 様	亡妻) 裕代	焼米
石 原 浩 善 様	亡母) ハツエ	大江田
古 川 正 剛 様	亡父) 正海	鶯原
坂 本 論 様	亡母) 英子	大江田
坂 本 ヨ シ エ 様	亡夫) 等	下津原西
藤 山 公 雄 様	亡母) トメメ	焼米
佐 藤 ツ ル 子 様	亡夫) 建喜	中和仁
平 尾 郷 聖 様	亡母) ミツヨ	板楠東
高 岡 節 美 様	亡夫) 信弥	萩原
杉 村 幸 敏 様	亡母) ユキノ	用木
南 幸 利 様	亡母) ミドリ	日平
高 木 一 彦 様	亡父) 謙吾	東吉地
齊 木 浩 様	亡母) ユリ子	大江田
甲 斐 ア キ ヨ 様	亡夫) 一紀	本村
有 働 壽 子 様	亡夫) 博之	中和仁
徳 永 國 広 様	亡父) 義信	下津原菰田
深 草 哲 夫 様	亡妻) 京子	下久井原
森 山 か お る 様	亡夫) 勇	北原
松 葉 利 光 様	亡父) 盡	本村
坂 梨 泰 志 様	亡母) 妙子	下津原東
大久保イキ子 様	亡夫) 和孝	志口永
淵 上 守 様	亡父) 留男	上岩
古 家 義 雄 様	亡妻) 明子	上吉地
坂 本 サ ワ 子 様	亡夫) 秀康	下津原西
深 草 一 義 様	亡母) ユリ子	下久井原
中 嶋 麗 子 様	亡叔母) 松本アイカ	志口永

善意寄付

下記の方より、善意の寄付をいただき、ありがとうございました。寄付については社協事業に活用させていただきます。

◇金一封◇

◆岩尻老人クラブ連合会 様

◆匿名 1件

補聴器相談・法律相談

	5 月	6 月	7 月
法律相談	5月22日(金) 10:00～12:00 福祉センター 司法書士 1名 (簡易裁判代理権 有) 《要予約!》	6月19日(金) 10:00～12:00 福祉センター 司法書士 1名 (簡易裁判代理権 有) 《要予約!》	7月31日(金) 10:00～12:00 福祉センター 司法書士 1名 (簡易裁判代理権 有) 《要予約!》
補聴器相談	5月15日(金) 9:00～12:00 福祉センター 玉名補聴器 センター対応		7月17日(金) 9:00～12:00 福祉センター 玉名補聴器 センター対応

「和水町シルバー人材センター」

会 員 募 集

あなたの戦力を活かしてください!



地域社会に貢献
生涯現役

人生百年時代、あなたも会員になりませんか?会員の最高齢は、84歳で貴重な戦力となっています。

- ・ 60歳以上で健康で働く意欲のある人
- ・ 年会費3千円(傷害保険代含む)
- ・ 働いた仕事量に応じて「配分金」があります

和水町シルバー人材センター
電話:0968-34-2366(担当:徳永)

編集後記

コロナ禍の影響で、外出制限や休校が相次ぐ中、自宅での過ごし方を模索する中で、最近、約15分間のストレッチに家族で取り組んでいます。日頃運動をする機会がなく、一人では中々続けられないことも、誰かのかけ声でテレビの前に集合し、それぞれの目標に向かって継続できています。(石原)